

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和4年4月13日

事業所名 障害児通所支援 にじいろポケット

保護者数(児童数):21 回収数:14 割合70%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	子供の活動等のスペースが十分に確保されているか	9		発達と放デイの区域を分けている	長期休みはスペースが十分ではなく、支援の組み立てが必要
	②	職員の配置や専門性は適正であるか	11		既定の人員配置を満たしている	
	③	生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切にされているか、	9			バリアフリー化は現在の時点では改善は難しいが、可能なところは改善していく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか	9		整理整頓、遊具の消毒を行っている	
適切なし支援の提供	⑤	子供と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	14			作成はされているが、個性がさらに必要。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13			具体的な支援内容が必要。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	13			
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11		スタッフ間で情報共有し支援に当たっている	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいがない子どもと活動する機会があるか	9	1		活動の機会がないため今後の課題とする。
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13			丁寧な説明が必要
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13			支援内容ない関しては時間を取り説明をしていく
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	7		3月より家庭連携加算導入	新型コロナ感染予防のため停滞している。
	⑬	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	14			
	⑭	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	13		電話・送迎時に行っている	対面での面談が必要
	⑮	父母会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携がされている	1	3	新型コロナ感染予防のため停滞している	感染対策を取りながらの再開検討

	⑯	子供や保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子供や保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14		
	⑰	子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14		
	⑱	定期的にホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されているか	12		ホームページで行っている
	⑲	個人情報に十分注意しているか	13		
非常時等の対応	⑳	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対策マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8	1	実施はしているが保護者への発信がされていないので、今後はお便り等で発信・周知していく。マニュアルの提示も行っていく。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その必要な訓練が行われている	7	1	1~2回/年実施
満足度	㉒	子供は通所を楽しみにしているか	12		
	㉓	㉓事業所の支援に満足しているか	14		